



令和6～令和10(2024～2028)年度

コスモスビジョン

(北区将来ビジョン)

北区役所



はじめに

このたび、北区役所では、地域のさまざまな特性や課題を踏まえ、めざすべき将来像にむけて区民の皆さまとともに取り組むため、皆さまからのご意見をいただきながら、令和6年度から令和10年度までの5年間を計画期間とする第2期北区将来ビジョンを策定しました。

この計画は、令和2年度から令和5年度までの第1期北区将来ビジョンに引き続き、「笑顔が満開!のまち」のキャッチフレーズのもと、「笑顔」をキーワードに「魅力」「福祉と健康」「安心・安全・快適」の3つの将来像や区の施策をお示ししています。

皆さまの笑顔であふれるまちになるよう、区民の皆さまに北区の特性や課題を知っていただき、ともに「笑顔が満開!のまち」の実現に向けてすすんでまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

目次

第1章 北区の特性

1 北区の地勢について	1
2 人口と世帯数の変化について	2
3 生活環境について	3

第2章 めざすべき将来像と区役所づくり

北区将来ビジョンとは	4
将来像Ⅰ 魅力と誇りに満ち、 笑顔いっぱいの未来に! ～ Let's smile ～	5
将来像Ⅱ 誰もがいきいきと健康で、 いつも笑顔で暮らせるまちに! ～ Keep on smiling ～	11
将来像Ⅲ 安心・安全・快適で、 笑顔がいっぱいのまちに! ～ Protect your smile ～	21
親しまれ信頼される区役所づくり	28

1 北区の地勢について

- 北区は昭和19（1944）年に、東区と西区の各一部をあわせて誕生し、昭和30（1955）年に西春日井郡楠村が名古屋市に合併された際、当区に編入され、現在の北区の区域が形づくられました。
- 庄内川・矢田川をはじめとする大小河川が流れ、「名城公園」「志賀公園」「楠公園」など緑豊かな公園に恵まれており、「水と緑のまち」として親しまれています。
- 国道41号・19号などの幹線道路、JR中央線、名鉄瀬戸線、地下鉄名城線などの鉄道、バス路線網が一体となって利便性の高い交通網を形成し、交通結接点である大曽根駅・黒川駅などは利用者でにぎわい、商業・サービス業が盛んです。
- 区の南北を名古屋高速道路1号楠線、東西を名古屋第二環状自動車道が横断し、北には県営名古屋空港があり、国内移動の利便性も高い地域と言えます。



楠公園



名城公園からの名古屋城



黒川友禅流し

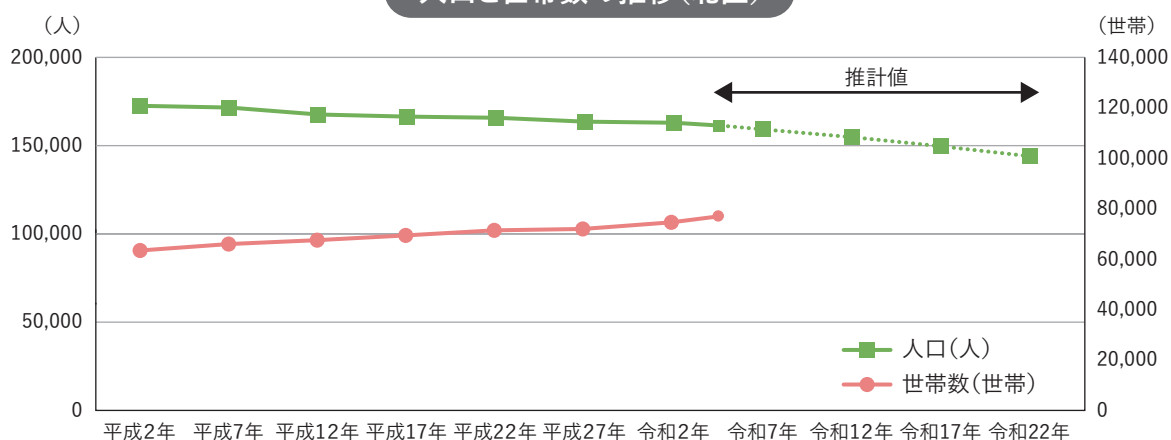


黒川の桜並木

2 人口と世帯数の変化について

- 北区の人口は、戦後の復興とともに増加し、昭和52（1977）年にピークを迎えました。その後は緩やかに減少を続け、現在は約16万1千人で横ばいになっています（令和5年10月1日時点の人口は161,250人）。
- 令和7（2025）年に団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、高齢化が一段と進行することで、死亡数の増加が予測され、将来的には人口が減少していくと推計しています。
- 世帯数については、核家族の増加や単身世帯の増加、価値観やライフスタイルが多様化するため、増加傾向は今後も続くと考えられます。また、今後は、高齢化の進行により、さらに高齢者単身世帯が増加していくと推計しています（令和5年10月1日時点の世帯数は81,278世帯）。

人口と世帯数の推移（北区）



子どもに関する指標

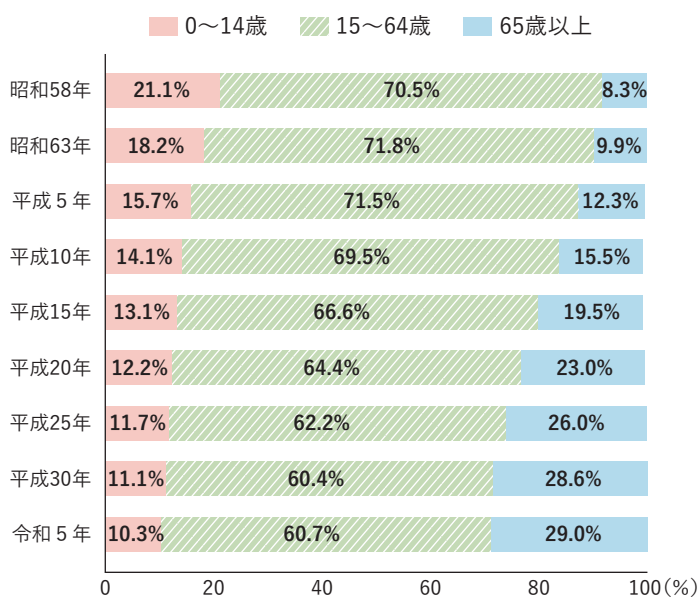
直近5年間の子どもの人口

	0～14歳の人口
令和元年	17,721人
令和2年	17,228人
令和3年	17,158人
令和4年	16,808人
令和5年	16,585人

(注)

- 各種統計データの割合については四捨五入のため、合計が100.0%にならないことがあります。
- 年齢3区分別人口割合において、平成22年9月30日以前は、年齢不詳者を含む人口総数を分母としているため、合計が100.0%にならないことがあります。

年齢3区分別人口割合

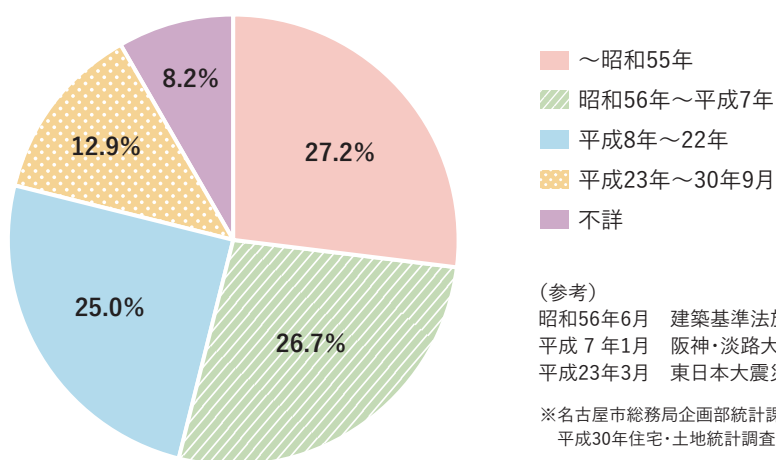


※実績値 名古屋市総務局企画部統計課より(各年10月1日現在)
推計値 名古屋市推計(令和4年10月1日現在)

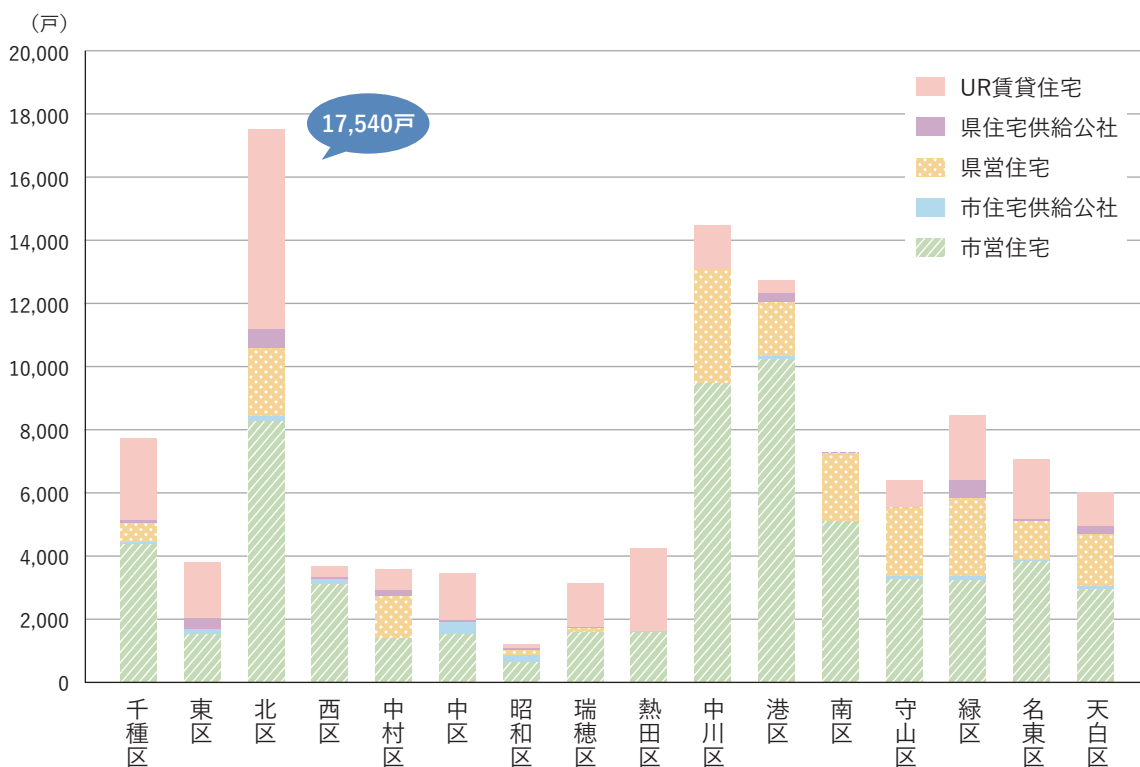
3 生活環境について

- 高度成長期に人口が増加、街が発展した北区は、昭和55（1980）年以前に建てられた住宅が多く残っています。また、昭和30（1955）年以降に楠地区で市営住宅が建設され、昭和31（1956）年には市内最大の公団住宅、志賀・鳩岡団地が誕生しました。昭和40年代に入り、工場移転跡地に市営・県営・公団の住宅が次々と建設され、現在、北区の公営・都市再生機構住宅数は16区中最多となっています。
- 今後、これらの住宅の老朽化や社会ニーズの変化、少子化・高齢化の進行に伴い、空き家が増え、防災・防犯・衛生・景観などさまざまな面で地域住民の生活環境に影響を及ぼす恐れがあります。

建築の時期別住宅数割合

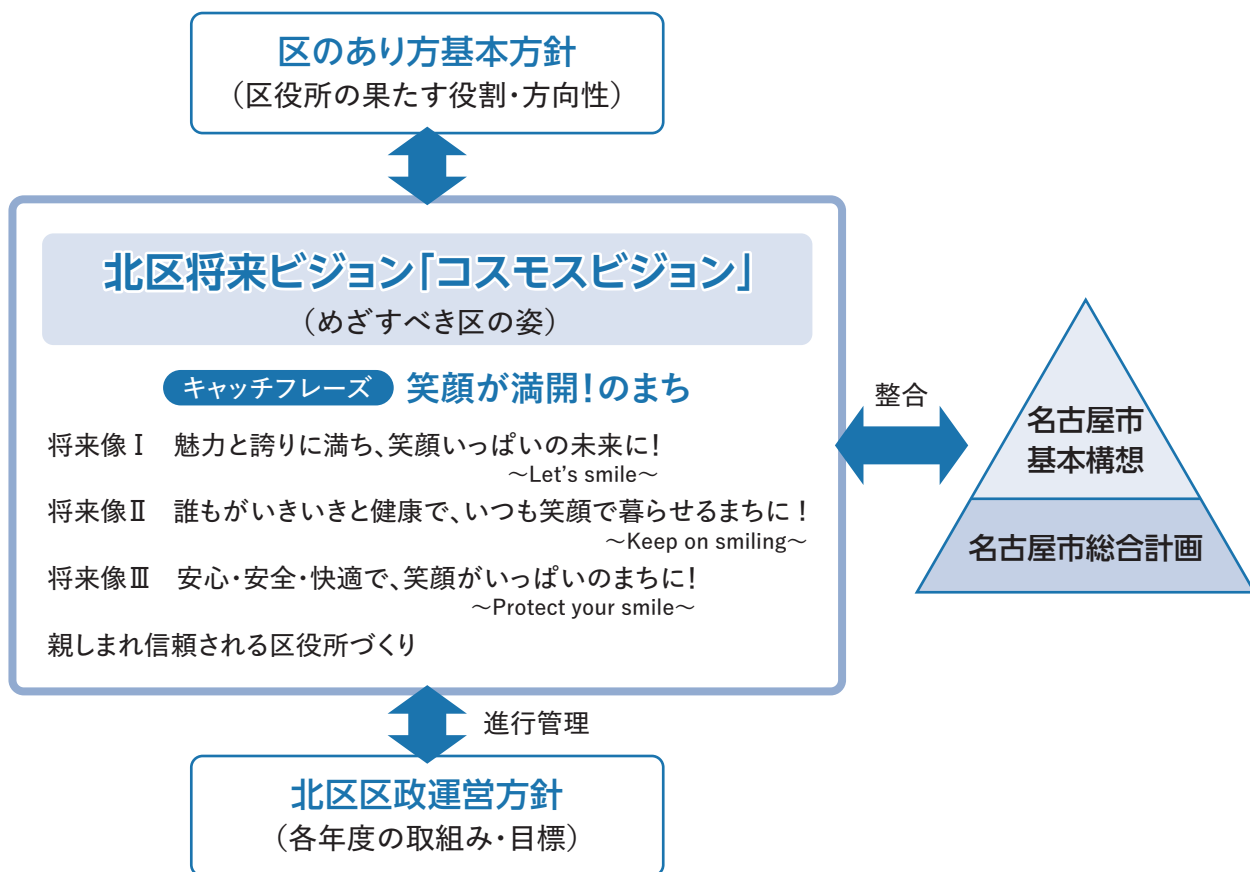


区別公営・UR賃貸住宅数比較



北区将来ビジョンとは

- 区将来ビジョンとは、区を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、めざすべき区の姿（将来像）を明らかにし、実現に向けた中長期的な取組みを体系化したものです。
- 北区将来ビジョンは、区の花「コスモス」にちなみ、「コスモスビジョン」という愛称をつけています。キャッチフレーズである「笑顔が満開!のまち」を実現するために、北区がめざす3つの将来像を掲げました。
- 将来像に掲げた北区がすすめる令和6年度から令和10年度までの施策の方向性や事業を区民の皆さまと共有し、すすめてまいります。
- 具体的な取組みについては、毎年度策定する区政運営方針に掲載します。
- 「名古屋市総合計画」では、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえながら施策を推進するとしています。北区においても、同様にSDGsの理念を踏まえながら、経済・社会・環境が調和したまちづくりをすすめてまいります。



平成27(2015)年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす17の国際目標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



魅力と誇りに満ち、 笑顔いっぱい未来に！

～Let's smile～

施策 1 愛着と誇りを育むまちづくり

施策 2 「発信」したくなるまちづくり

北区区民アンケートによると、北区に愛着を感じている理由の第1位が「買い物や交通の便利がよいところ」となっています。しかしながら、北区には、区民の皆さまに愛され、受け継がれてきた文化や魅力がたくさんあります。例えば、都会の豊かな自然「黒川」に咲く桜は、地域の皆さまの手で植えられ、毎年わたしたちを楽しませてくれています。また、名古屋型友禅などの「伝統工芸」や楠地区の名産「味鋤いも」も、職人や地域の皆さまによって大切に守られてきました。さらに、北区では中学校のジャズアンサンブル部や市民ビッグバンドが地域で活躍し、名古屋最大級のジャズイベントが毎年開催されており、平成30(2018)年からは北区ジャズの街プロジェクト「KITA JAZZ!」をスタートし、ジャズの輪が広がりつつあります。

このように北区にある多くの魅力を区民の皆さまとともに再発見し、さらに魅力的なものへと磨き上げることで、北区への愛着と誇りを高めてまいります。北区のだれもがまちや生活を楽しみ、発信し、共感することで、区民の皆さま一人一人の「笑顔が満開!のまち」をめざします。



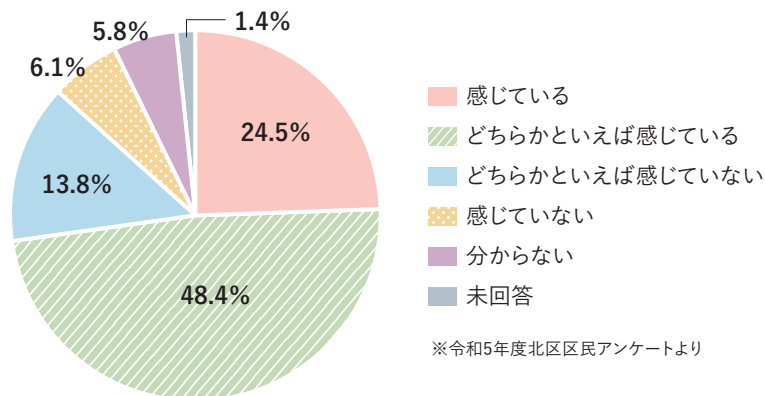
施策 1 愛着と誇りを育むまちづくり

■ 現状と課題

北区は、庄内川、矢田川、黒川など大小河川が流れ、名城公園、志賀公園、楠公園など緑豊かな公園にも恵まれています。黒川にはかつて染色工場があり、友禅染め（名古屋型友禅）の糊を落とす美しい光景がみられました。その様子を再現した「黒川友禅流し」には、多くの人々が訪れています。また、北区の歴史は古く、弥生時代の遺跡が発掘されるなど、貴重な史跡や文化財があり、「味鋤いも」栽培や伝統工芸も残っています。

このような北区にある地域資源を活用し、その魅力を伝えていくことが必要です。

北区に「自分のまち」としての「愛着」を感じていますか？



■ 施策の方向性

区民の皆さまが区内にある河川や公園、歴史的・文化的な地域資源の魅力を身近に感じ、愛着や誇りをもっていただけるようなまちづくりをすすめます。

■ 主な事業・取組み

黒川などの水辺空間の魅力発信

黒川をはじめとした水辺空間に親しみ、その魅力を知る機会をつくることで、北区への愛着と誇りを育み、北区の豊かな自然を次世代に伝えていきます。

黒川友禅流し



黒川観察会



北区の歴史・文化の魅力発信

北区の歴史・文化や自然とふれあいながら、幅広い年齢層の方に北区の魅力を再発見していただき、北区への愛着と誇りを育みます。

KITA JAZZ! (詳細は10ページ)



伝統工芸のPR



関係機関の 取組み

北文化小劇場	ジャズなどの音楽イベント・講座の開催。市民ジャズビッグバンド「The Polar Star Jazz Orchestra」の定期演奏会の開催等
北図書館・楠図書館	KITA JAZZ! コーナーの設置・拡充や関連イベントの開催等
名城公園フラワープラザ	KITA JAZZ! ミニコンサートの会場提供等
UR都市再生機構	団地内イベントでのKITA JAZZ! コンサートの開催、リズム&ステップ教室の実施等

若い世代の北区への愛着と誇りの向上

次世代を担う子どもたちが、北区に愛着を持ち、育ったまちを誇りに思えるよう、楽しみながら北区のまちについて学ぶことができるようにします。

子ども向けウェブサイト
「キタッコくらぶ」



目 標	現状値	目標値
「北区独自の魅力や文化で自信をもって紹介できるものがある」と思う区民の割合	35.4%	40%
黒川友禅流しの来場者数	1,200 人	1,300 人
「「北区＝ジャズ」のイメージ」を持つ区民の割合	19.5%	25%

(注) 現状値は令和5年度実施、目標値は令和10年度実施予定の数値。以下同じ。



施策 2 「発信」したくなるまちづくり

■ 現状と課題

わたしたちは、何気ない生活の中で、知らず知らずのうちにまちの魅力に触れ、まちの面白さを体感しています。また、趣味や地域生活など「生きがい」は、わたしたちの生活を豊かにします。しかし、新型コロナウイルスの影響により、さまざまな取組みが中止・縮小され、ふれあいやにぎわいづくり、交流の場などの機会が減り、北区の情報や魅力を発信する力が弱まっています。

■ 施策の方向性

北区の魅力を幅広い世代の区民と共有し、だれもがまちや生活を楽しみ、思わずだれかに話したくなる(=発信したくなる)ようなまちをめざします。

■ 主な事業・取組み

戦略的な情報発信

北区の区政情報や魅力など必要な情報が受け手に届くよう、SNS等を活用しながら効果的な情報発信を行います。また、区民の皆さまが主体的に情報発信したくなるような仕掛けづくりをし、情報の拡散を図ります。



X (旧:Twitter)



ピアッザ



名古屋市公式LINE

キタッコ広報大使

LINEは「受信設定」→
「各区からのお知らせ」で
北区を登録してね!

北区のマスコットキャラクター
キタッコ



サポーターづくり

気軽に参加できるお祭りや行事を通じて、区民の皆さまの交流を深め、地元愛を育むことで、まちづくりの輪を広げ、担い手づくりをすすめます。また、産学官が連携した取組みをすすめ、北区の魅力と発信力のさらなる向上、持続可能なまちづくりをめざします。

北区区民まつり・楠フェスタ



サステナまち計画



生涯学習の推進

スポーツや文化芸術活動を通じた健康増進、地域交流や世代間交流の活性化、生涯にわたって充実した日々を送ることができる環境を醸成するため、スポーツや文化芸術活動の機会・場所・情報の提供を行います。また、各種競技大会や愛知県体育館完成などの気運を捉えたスポーツ振興の取組みを推進します。

スポーツイベントの開催



文化芸術イベントの開催



目 標	現状値	目標値
「北区の魅力や必要な情報が発信されている」と思う区民の割合	30.1%	55%
区民まつりの来場者アンケートにおける満足度	97.0%	97%以上維持
楠フェスタの来場者アンケートにおける満足度	99.4%	95%以上維持

名城公園周辺 の変化



名城公園の周りには、平成26(2014)年に愛知学院大学、令和4(2022)年に名古屋造形大学のキャンパスが開設されました。そして、現在、令和8(2026)年のアジア・アジアパラ競技大会の開催に向け、名城公園北園で愛知県体育館の移転工事が行われているほか、名古屋市では遊具広場をはじめ名城公園北園のリニューアルを進めています。

地下鉄名城公園駅では、明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、駅全体の壁・天井・照明などをリニューアルします(令和6年度完成予定)。



区のマーク

昭和63(1988)年2月に、市制100周年を機に応募作461点から選定。区名「北」の漢字をデザイン化し、雄飛発展する北区の輝く未来を力強く象徴しています。



区の花：コスモス

昭和63(1988)年6月に、市制100周年記念事業として「区の花」、「区の木」を募集し、コスモスとさくらを制定しました。平成23(2011)年に公募でデザインを募集し、デザインマークを決定しました。



区の木：さくら



くすのっち

平成25(2013)年に楠地区の皆さんの投票により誕生した楠地区のマスコットキャラクターです。

北区ジャズの街プロジェクト KITA JAZZ!



平成30(2018)年にスタートした北区をジャズで盛り上げるプロジェクト

北区とジャズ?

名古屋最大級のジャズイベントが毎年開催され、ジャズアンサンブル部や市民ビッグバンドが地域で活躍するなど、北区はジャズが盛んな地域です。

名古屋ジャズストリート in 大曽根商店街



平成25(2013)年から毎年10月に大曽根商店街で開催される名古屋最大級のジャズイベントです。入場無料で、国内外の本格派ジャズアーティストの演奏を聴くことができます。

若葉中学校 ジャズアンサンブル部

市内中学校ジャズ部で最も長い歴史を誇ります。毎年、神戸で開催される大会では数々の賞を受賞しています。地域の行事などでの演奏も積極的に行っています。



The Polar Star Jazz Orchestra "PSJO"



平成27(2015)年6月に結成された市民ジャズビッグバンド。20～70代のメンバー約30人が活動しています。バンド名は「北区の星になる」という意気込みから「北極星(The Polar Star)」と名づけられました。

～名古屋のジャズを中心とした音楽が集まる「笑顔が満開!のまち」北区へ～

※取組みの一例です。

コンサート・ワークショップ



各種音楽イベントを開催!

KITA JAZZ! メンバーズ



区民の皆さまと
北区をジャズで盛り上げます!

広報



ホームページ等を活用し、区内外に
「北区=ジャズの街」を発信!

ジャズの 効用



ジャズは心を落ち着かせ、気持ちを豊かにしてくれます。また、脳の疲労回復をサポートし、ドーパミンの分泌を活性化させ、脳をリフレッシュさせてくれる効果もあります。

さまざまな音楽ジャンルの中でジャズが特に脳の疲労回復に効果的な理由は、独特なリズム感。ロックやJ-POPなどの音楽は、8ビートで作られています。ジャズはその半分の4ビートでリズムを刻んでいます。

演奏テンポ自体は4ビートの方が速いですが、聴くと速さを感じにくい特性があり、心地よいリズムの変化でゆったりとリラックスすることができます。さらに、音量変化が頻繁に行われ、リズムも多彩なため、常に一定の調子で演奏されることがなく、長時間聴いても飽きにくいといった特徴もあります。

誰もがいきいきと健康で、 いつも笑顔で暮らせるまちに！

～Keep on smiling～

- 施策 3 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
- 施策 4 子ども・若者がのびのびと育ち学べるまちづくり
- 施策 5 高齢者が自分らしく生活できるまちづくり
“北区まるっとすまいる大作戦”
- 施策 6 障害のある方が安心して生活できるまちづくり
- 施策 7 区民が健康でいきいきと暮らすまちづくり

人生100年時代を目前にして、子どもから高齢者まで、区民の皆さま誰もがいつも笑顔で元気に活躍し続け、安心して暮らすことができる社会が求められています。

北区では、子育て世帯の子育ての不安解消や負担軽減となる取組み、地域の人と接する機会の減った子どもたちとひとり暮らし高齢者をつなげる多世代交流、障害のある方への理解をすすめる啓発活動などをすすめてきました。さらに、関係機関や地域のさまざまな人と高齢者の住みやすいまちづくりをめざす「北区まるっとすまいる大作戦」、区内の保育所や主任児童委員が子育て世帯のつながりづくりに取り組む「子育て支援るーむ」、授産製品の販売促進イベントなど、さまざまな関係機関や事業者と連携し、多くの区民が関わる取組みが行われています。

区民の皆さま誰もが健康で、子育て家庭では親子ともに健やかに成長し、地域の子どもや高齢者につながり、障害のある方も住み慣れた地域で安心して過ごすことのできる「笑顔が満開!のまち」をめざします。



施策 3 安心して子どもを産み育てられるまちづくり

■ 現状と課題

子どもたちは大切な未来の担い手です。その子どもたちを育てる環境は、核家族化や地域のつながりの希薄化により変化し、子育ての負担感や孤立感を感じている保護者が増えています。

「子どものしつけ・生活習慣のこと」、「子どもの病気・健康のこと」、「子どもの発育・発達のこと」について、不安に感じたり、困っている保護者が多い状況があります。(注)

子育ての不安感や負担感の解消を図るために、保護者が必要とする子育て情報を得ることができ、不安や困りごとについて相談しやすい環境づくりが必要です。

(注) なごや子ども子育てわくわくプラン2024（名古屋子どもに関する総合計画）の策定に向けた、平成30年度子ども・子育て家庭意識生活実態調査の中で、「どんなことに悩んだり、困ったりしましたか」という質問に対する複数選択の回答結果として多かった回答は、「子どものしつけ・生活習慣のこと」が57.3%、「子どもの病気・健康のこと」が27.4%でした。

■ 施策の方向性

関係機関や地域ぐるみで子育て世帯を支援する仕組みや、子育て世帯のニーズに沿った妊娠・子育てに関する施策を充実させ、その情報が子育て家庭にもれなく行き届くことで、子育ての不安を解消し、子どもを育てることに喜びを感じ、親として成長できるよう支援していきます。

■ 主な事業・取組み

地域ぐるみの子育て支援

保育所に通っていない子育て家庭が交流できる場の提供や、子育て中の家庭に役立つ情報の提供・子育ての不安を解消し親が子育てを楽しむきっかけとなる講座を開催します。

また、親子が孤立しないよう、地域や関係機関等が連携・協力して見守り支援を行います。地域の身近な相談役である民生委員・児童委員の活動PRや地域福祉課題の解決に取り組める地域づくりの支援を行います。

親子支援講座



子育て支援の一む



民生委員・児童委員の活動の支援



オレンジリボンキャンペーン



子育て環境の整備

子育て世帯のニーズに沿った保育施設や子育て支援施策の情報をさまざまな手段で広く発信していきます。また、「なごや子ども応援委員会」や地域の医療機関等との連携を強化し、虐待防止や母子保健向上につなげます。

北区保育施設ガイド



ほいくえん子育てカレンダー



目 標	現状値	目標値
「北区は子育てしやすいまちだ」と思う区民の割合	64.2%	83%
子育て支援事業の参加者アンケートにおける満足度	100.0%	98% 以上維持

関係機関の 取組み

保育所	就園児の保護者へのアドバイスのほか、産休明け・育休明け予約入所、一時保育・休日保育の実施、未就園児の親子が参加できる事業の実施等
地域子育て支援センター	子育て中の親子・子ども同士・親同士の交流の場の提供、地域の子育てに関する相談、情報の提供、講習会の実施等
エリア支援保育所	区内、地域の保育の質の向上と、地域の子育て家庭を支援するための相談事業や情報提供、子育て関係機関とのコーディネート等
北区子育て応援拠点 地域子育て支援拠点	子育て中の親子の交流の場の提供、子育て等に関する支援相談、子育てに役立つ講習会の実施、未就園児の一時預かり等
上飯田児童館	乳幼児とその保護者向けイベントの開催、子育て支援の一助の会場提供等
学区子育てサロン	各学区の主任児童委員をはじめとする地域住民が中心となって開催する子育て中の親子の交流の場の提供等

なごや子ども応援委員会について

さまざまな悩みや心配を抱える子どもや親を総合的に支援するため、市内17ブロック（各区1ブロック、高校・特支ブロック1）毎に、スクールカウンセラーを始めとする常勤の専門職から成るチームを配置し活動する、教育委員会の取組みです。北ブロック（北区全域）では北陵中学校に配置されているほか、各中学校に配置されたスクールカウンセラーと連携し、支援を行います。



施策 4 子ども・若者がのびのびと育ち学べるまちづくり

■ 現状と課題

子どもは、遊びを通じて社会の一員として必要な知識、技能や態度を学びますが、少子化が進む中、その機会が減少し、年齢の異なる子どもと一緒に遊ぶ機会もまた少なくなっています。地域や年齢を越えた活動を通じて、さまざまな人に会い、互いに協力することや思いやることの大切さを学ぶ機会が必要です。

地域において、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、声かけや見守り活動の推進を図ることが求められています。

■ 施策の方向性

子どもや若者が夢や希望をもち、心身ともに健やかに成長でき、のびのびと過ごすことができるよう地域での見守りや人との交流・ふれあいの機会をつくり、社会全体で子どもを育てていく機運を醸成します。

■ 主な事業・取組み

子ども・若者がのびのびと育つ環境づくり

子どもや若者がさまざまな体験を通じて、心身ともに健康に育つよう支援し、地域が子どもや若者にとって安心して過ごせる居場所となるよう、地域における青少年の健全育成を推進します。

青少年の健全育成活動



子ども会活動への支援



目 標	現状値	目標値
「北区は子ども・若者がのびのびと育つ環境だ」と思う区民の割合	53.0%	65%
青少年健全育成事業の参加者アンケートにおいて「北区が子どもにとって安心・安全な場所であると感じている」と回答した方の割合	88.3%	80%以上維持

関係機関の 取組み

青少年交流プラザ

誰もが安心して気軽に立ち寄れる居場所づくりの場であり、体験プログラムや「やってみたい」ことを通して仲間とのつながりを深めたり、自分の新たな可能性に気づいたりできる場

北区の子どもに関する取組み

妊娠～乳児

母子健康手帳交付時面接 [保健センター]
 ファミリー教室 [保健センター]
 乳児家庭全戸訪問 [保健センター]
 赤ちゃん訪問 [主任児童委員・児童委員]
 乳幼児健康診査 [保健センター]
 離乳食教室 [保健センター]
 乳幼児発達相談 [保健センター]
 ぱぱまたいむ、ひよっこたいそう など [上飯田児童館]

未就学児

言葉のめばえ教室 [保健センター]
 おやこ歯の健康教室 [保健センター]
 子育てサロン [主任児童委員など]
 子育て支援るーむ [保育所・主任児童委員・民生子ども課など]
 子育て広場 [保育協会・民生子ども課]
 親子支援講座 [民生子ども課]
 交通安全教室 [交通指導員]
 北区保育施設ガイド [民生子ども課]
 ほいくえん子育てカレンダー [エリア支援保育所・民生子ども課]
 防災サロン [総務課]
 さくらんぼ広場、おやこ de ヨガ など [上飯田児童館]
 子ども向けスポーツ・文化事業（未就学児～中学生まで） [地域力推進課]

小学生

登下校時の見守り活動 [交通指導員・交通委員]
 [防犯委員・女性会・PTA]
 交通安全教室 [交通指導員]
 子ども会活動 [北区子ども会育成連絡協議会・民生子ども課]
 PTAパトロール [小学校・PTA・地域力推進課]
 ジュニアスポーツクラブ活動支援 [地域力推進課]
 留守家庭児童健全育成事業 [留守家庭児童育成会・上飯田児童館]
 夏休み親子観察会 [地域力推進課]
 自主的な遊び場の提供 [上飯田児童館]
 インターネット適正利用啓発事業 [地域力推進課]

中学生

青少年健全育成活動 [保護司会・少年補導委員会]
 中学生の学習支援事業 [上飯田児童館]
 ナイト児童館 [上飯田児童館]
 自主的な遊び場の提供 [上飯田児童館]

高校生

高校生世代への学習・相談支援事業 [上飯田児童館]
 ナイト児童館 [上飯田児童館]
 区内の行事・事業等への協力 [名古屋市立北高等学校]

施策

5

高齢者が自分らしく生活できるまちづくり

“北区まるっとすまいる大作戦”

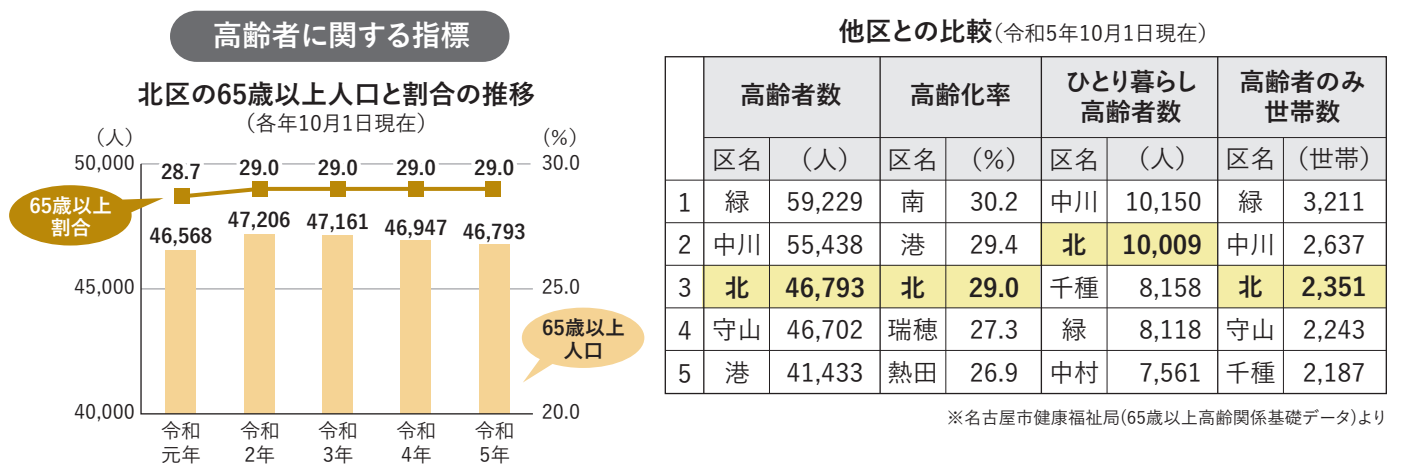
北区

まるっとすまいる大作戦

■ 現状と課題

北区は高齢者数が16区中3番目に高く、さらに高齢化が進行することに伴い、支援を必要とする高齢者も増加することが見込まれます。また、高齢化率が同じように高い他区に比べ、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が多い特徴があります。

高齢者数等の推移は今後も同じ傾向が続くと予想され、北区の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための体制づくりをすすめることが喫緊の課題となっています。



■ 施策の方向性

このような北区の特性から、高齢者が住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができるよう、「北区まるっとすまいる大作戦」として、地域ぐるみで取り組むことで、高齢者が多いという北区の特徴が区の魅力の一つとなるまちづくりをすすめます。

■ 主な事業・取組み

地域包括ケアシステムの深化・推進

高齢者が住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らせるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組めます。

健康つながりまちづくりワークショップ

学区別ワークショップ

シニアのICT利活用の推進

デジタル支援ボランティア勉強会

地域包括ケアに関する出張講座・イベントの開催

商業施設でのフレイル予防イベント

16

認知症施策の推進

認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでと同様に地域で暮らしていけるまち「北区認知症フレンドリーコミュニティ」の実現に向けた取組みを推進します。

「社会参加・はたらく」取組みの検討



認知症フレンドリーセミナー「認知症になってもはたらく！」

北区認知症本人のつどい



認知症本人のつどいポスター

地域共生社会の構築

地域住民や関係団体と連携、協働しながら、生活課題を抱え支援が必要な人に寄り添い、生活課題の解消と地域において役割を持ちながら社会参加できるよう包括的な相談支援を届けていきます。

重層的支援体制整備事業



多機関協働による排出支援

地域支えあい事業の推進



地域支えあいボランティアの活動

目 標	現状値	目標値
「北区は高齢者にとって住みやすいまちだ」と思う区民の割合	60.6%	80%
地域支えあい事業の実施学区数	10学区	19学区

関係機関の 取組み

北区西部・東部 いきいき支援センター	高齢者の総合相談窓口、介護予防・地域包括ケアの啓発イベント等の実施、認知症サポーター養成、認知症カフェの支援
北区社会福祉協議会	高齢者はつらつ長寿推進事業（フレンドリークラブ）の実施、地域支えあい事業、高齢者サロン・給食会等の開催支援
上飯田福祉会館	高齢者の健康づくり、趣味・教養講座の実施、レクリエーション活動の場の提供、認知症予防リーダー等の講習会の開催
UR都市再生機構	地域医療福祉拠点化により、高齢者からの相談などに対応する担当者の配置を推進。介護予防等のイベントの開催
はち丸在宅支援センター	在宅療養に関する相談対応、多職種連携のサポート、区民への在宅療養についての普及啓発等の事業
名古屋大学情報学研究科	高齢者のデジタルデバйд解消に向けた研究、北区と連携した取組を実施



施策 6 障害のある方が安心して生活できるまちづくり

■ 現状と課題

区民アンケートでは、「区民が心のバリアフリー（障害のある方への理解）がすすんでいるまちだ」と思う区民の割合は38.4%であり、目標である55%と乖離がある状況となっています。

今後も、北区で障害のある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、障害を理由とする差別の解消をすすめるとともに、多様なニーズへの相談ができるよう、さまざまな関係機関との連携を図り、適切な支援につなげることが必要です。

■ 施策の方向性

北区では、障害のある人もない人もお互いに人格と個性を尊重しあい、お互いを思いやる気持ちを持ちながら、安心して暮らすことができるまちをめざします。

■ 主な事業・取組み

障害のある方への理解の啓発

障害のある方への理解をすすめるため啓発活動を行うほか、障害者差別相談センターと連携し、障害のある方からの相談に対応します。

講演会、作品展の実施



障害理解のための啓発



障害のある方の就労支援

授産製品の販売促進を行い、障害のある方の就労支援、自立生活の支援をすすめます。

授産製品の販売所として、北区役所では「キタッコいちば」、楠支所では「くすのっちいちば」を開催するほか、各種イベントでの販売を企画します。

キタッコいちばの開催



くすのっちいちばの開催



授産製品

障害のある方が地域において自立した生活が営めるよう、障害者就労施設や地域共同作業所などにおいて作業訓練を行っており、そうした訓練の一環として制作した製品のこと。

障害福祉施策の推進

関係機関と連携し、障害のある方が地域で安心して暮らしていくためのネットワークを構築するとともに、地域課題の検討を行います。

自立支援連絡協議会との連携



研修会



地域防災のつどい

目 標	現状値	目標値
「区民が心のバリアフリー（障害のある方への理解）がすすんでいるまちだ」と思う区民の割合	38.4%	55%
精神障害者家族のつどいの参加者アンケートにおける満足度	100.0%	90%以上維持
授産製品販売の実施回数	271回	275回

関係機関の 取組み

北区障害者 基幹相談支援センター	障害のある方の身近な相談窓口として、障害者（児）とその家族の方の地域における生活を支援
なごや障害者就業・ 生活支援センター	障害者の就労及びそれに伴う日常生活上の相談・支援を一体的に実施
障害者・高齢者権利擁護センター 北部事務所	自分の身の回りのことや財産管理などにお困りの障害者の権利擁護・財産管理などの相談業務
成年後見あんしんセンター	判断能力が十分ではない方の法律行為や財産管理を行う成年後見制度に関する相談・支援
障害者差別相談センター	障害者本人やご家族、事業者の方を対象に障害者差別に関する相談、関係者間の調整
障害者虐待相談センター	障害者本人やご家族、保健福祉関係者等からの障害者虐待に関する相談、法律相談
名古屋北歯科保健医療センター	歯科治療を受けることが困難な障害児（者）に対して口腔衛生相談・指導・治療（受診条件有）
名古屋仕事・暮らし 自立サポートセンター大曾根	生活困窮者の就労状況、心身の状況、地域社会からの孤立等の状況に応じ必要な事業を包括的に実施

安心・安全・快適で、 笑顔がいっぱいのまちに！

～Protect your smile～

施策 8 地域防災力の高いまちづくり

施策 9 安心・安全に暮らせるまちづくり

施策 10 快適に暮らせるまちづくり

北区は交通の利便性や、河川や公園など水と緑が豊かな環境が特徴とされています。

しかし一方で、河川が多いことによる水害の危険性や、平坦な地形や広い幹線道路に起因する自動車や自転車の事故、犯罪の多発や公共マナー低下への不安の声が区民の皆さまから届いています。

これまで北区では、地域と連携した防災知識の啓発活動や、まちの環境を守るための清掃活動、ペットの飼い方のマナーの啓発などを行ってきました。

そして、令和元年度からは、区民の皆さまからの970点もの応募の中から決定した交通安全標語による交通安全啓発の取組み“キタク大作戦”を実施しております。

社会状況が変化する中においても、安心・安全で快適なまちであるためには、区民の皆さま一人ひとりが災害や事故などを「自分事」として意識すること、関係機関・行政が連携し、お互いが助け合う地域のつながりを高めることが重要です。

北区役所は、地域、関係機関とともに区民の皆さま全員の笑顔が、危険や不安から守られるよう「笑顔が満開!のまち」をめざします。

施策

8

地域防災力の高いまちづくり

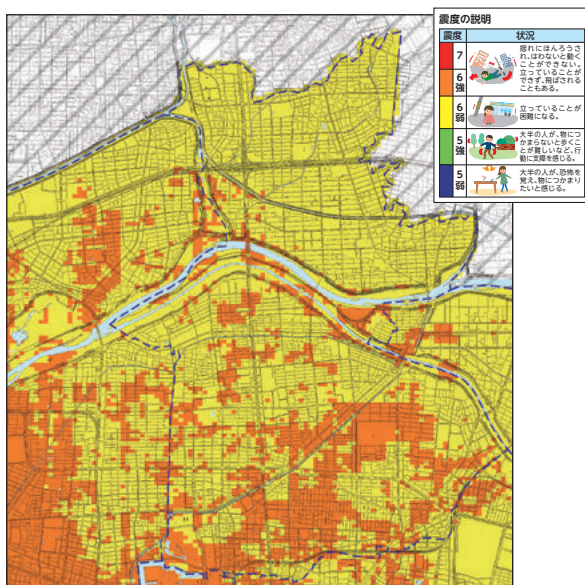
■ 現状と課題

南海トラフ地震の発生確率は、今後30年以内に70～80%（40年以内に90%程度）と言われており、北区内においても、震度6弱～6強の揺れによる被害が想定されています。また、近年では、集中豪雨が頻繁に発生し、記録的な大雨による広域的な災害も懸念されます。

これらの災害に備えて自分で自分や家族を守るという「自助」の力、市民や事業者が助け合って地域を守るという「共助」の力の双方を高める必要があります。

地震の被害想定

あらゆる可能性を考慮した最大クラス



※名古屋市防災危機管理局ハザードマップより

震度	死者	建物全壊	火災焼失
6弱～6強	約100名	約1,570棟	約1,800棟

※防災危機管理局危機管理企画室

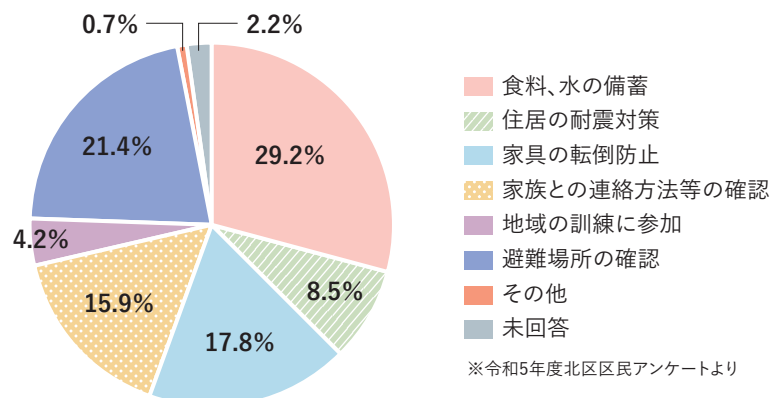
北区の風水害の歴史

年代	風水害	北区の主な被害
1757(宝暦7)	庄内川／八田川	味鋺破堤
1779(安永8)	庄内川	味鋺破堤
1782(天明2)	庄内川	年4回の水害
1830(天保元)	庄内川	辻村破堤
1855(安政2)	庄内川／矢田川	前年地震で堤防未修理の 所あり味鋺破堤等被害大
1868(明治元)	矢田川	味鋺・成願寺等破堤
1896(明治29)	庄内川／矢田川	福德・味鋺破堤
1911(明治44)	庄内川／矢田川	福德破堤
1959(昭和34)	伊勢湾台風	負傷者275、全壊101
1971(昭和46)	台風23号	床上41、床下856
1976(昭和51)	台風17号	床上349、床下6,172
1982(昭和57)	集中豪雨	床上92、床下2,846
1991(平成3)	台風18号	床上484、床下1,745
2000(平成12)	東海豪雨	負傷者2 床上2,221、床下1,172
2008(平成20)	8月末豪雨	床上109、床下1,290
2011(平成23)	台風15号	負傷者1、床下75
2013(平成25)	集中豪雨	床上27、床下598

※北区誌、庄内川水害誌より

防災意識に関する指標

日頃から災害に備えて
いる方が、どのような備え
をしているかの割合



■ 施策の方向性

各種防災訓練の充実を図るとともに、地域の防災意識や防災力の向上を支援し、地震、風水害などの災害に強いまちづくりをすすめます。

■ 主な事業・取り組み

災害に備えた訓練の実施

大規模災害に備え、区民の皆さまが防災活動や避難所の開設・運営などを自主的に行うことができるよう、より実践的な訓練を幅広く行います。

総合防災訓練



要配慮者避難所体験訓練



防災知識の普及啓発及び防災意識の啓発

大規模災害に備え、「自助」、「共助」の意識を高く持ち、発災時に自主的に行動できるよう、防災知識の普及啓発を行い、防災に対する意識の向上を図ります。

防災サロンの充実



防災イベントの実施



目 標	現状値	目標値
「「自助」・「共助」に対する意識を持ち、日頃から災害に備えている」区民の割合	84.2%	100%
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	100%	100%

関係機関の 取り組み

北消防署

令和6年度までに全学区で戸別訪問し、防災意識の啓発を実施。家具転倒防止ボランティアと連携し、自力で対策が困難な世帯に対し家具の固定を施工し、自助力向上を促進。地域の事業所と接するあらゆる機会に消防・防災訓練等を行い、事業所の消防・防災力を強化

北土木事務所

台風や大雨等の自然災害に備えた道路・河川の整備や維持管理、大規模災害が発生した場合の主要道路の安全確保の実施等

施策

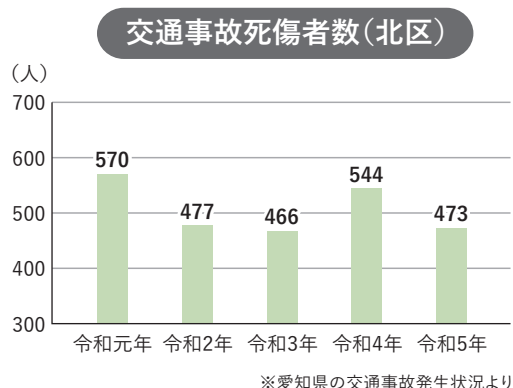
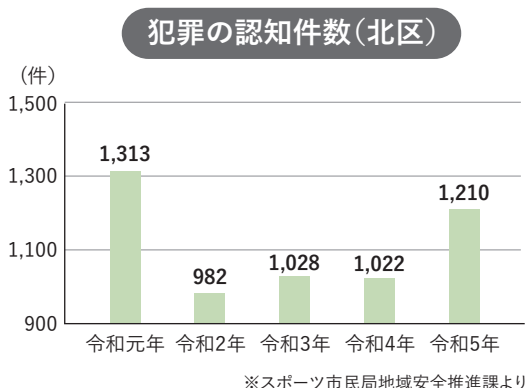
9

安心・安全に暮らせるまちづくり

■ 現状と課題

北区は、行政、事業者、区民及び団体等が、安心・安全で快適な環境に関する地域の身近な課題について、それぞれの役割のもと、協働して取り組みをすすめるため「北区安心・安全で快適なまちづくり推進協議会」を立ち上げ、区民の皆さまが安心・安全で暮らすことのできる地域社会を実現するよう取り組んでまいりました。

北区内の刑法犯認知件数は令和元年から減少傾向にありましたが、令和5年は前年に比べ増加しています。令和5年の交通事故死傷者数は、増加に転じた前年に比べ減少しました。被害にあわれる方を1人でも減らすため、引き続き生活安全・交通安全施策に取り組む必要があります。



■ 施策の方向性

少子化・高齢化など社会状況が変化する中においても、警察署、消防署や地域と連携した取り組みや、広報・啓発活動、地域防犯活動への支援を通じて、区民の皆さまの交通安全意識の浸透や地域の防犯力の向上をめざします。

■ 主な事業・取り組み

交通安全の推進(キタフ大作戦)

区民の交通安全に対する意識を高めるため、地域や警察をはじめとした関係機関と連携した広報・啓発活動を行います。特に、地域の方によるコスмет隊(区の花「コスモス」とヘルメットの造語)を結成し、自転車乗車時のヘルメット着用の普及啓発を図ります。

交通安全の広報・啓発



コスмет隊



生活安全の推進

区民が安心して快適に暮らせるよう、北区内で発生件数の多い街頭犯罪等を中心に、区役所・区民・関係機関が協働して主体的に関わる活動を行います。

また、北消防署では住宅用火災警報器の設置・点検・交換や火の元の管理意識の向上を図り、住宅の防火対策を推進します。

防犯活動キャンペーン



住宅防火対策の推進



目 標	現状値	目標値
「安心・安全な生活ができる環境が整っている」と思う区民の割合	51.3%	60%
交通事故死傷者数	473人	450人以下

“キタク”大作戦 ～コスモスで守る交通安全～

“キタク”大作戦の 目標

「区民の皆さまが無事に自宅に帰宅する」
より身近に交通安全を意識していただき、1件でも交通事故を減らせるような啓発活動を推進します。

“キタク”大作戦の 取組み

- 標語を使った啓発活動を実施します。
北区の交通安全標語を使って、区民の皆さまにより身近に交通安全を感じてもらえる環境をつくれます。
- 地域ぐるみの啓発活動を推進します。
地域の中でも、お互いが交通安全を感じていただけるような環境をつくるとともに、高齢者、子どもを中心に、自転車事故防止のため、自転車利用のマナーアップにつながるような啓発活動を実施します。

各部門の最優秀標語

ドライバー
部門

交通安全
スピード注意
モラルを守って
すてきな笑顔

こども
部門

こわいんだ
スピード出てる自転車は
もっと落とせよ
スマートに

施策

10

快適に暮らせるまちづくり

■ 現状と課題

名城公園や志賀公園、楠公園など緑豊かな公園で自然に触れあえ、都心部への交通利便性の高い北区は、住みやすい地域といえます。一方で、少子化・高齢化の進行、建築物の老朽化や社会的ニーズの変化により空き家の戸数は今後も増加していくと見込まれるほか、依然として近隣の犬猫について迷惑だと感じる方もいます。

■ 施策の方向性

だれもが快適な生活環境を確保するために、地域や関係機関と区役所が連携し活動することで、社会生活のルールやマナーが守られたまちづくりをすすめます。

■ 主な事業・取組み

町を美しくする運動

地域や関係機関と連携した清掃活動や啓発活動を通じて、地域の生活環境の向上をめざします。また、区の花「コスモス」の普及を図るなど、区民のまちを美しくする意識の向上をめざします。

地域ぐるみの清掃活動



花いっぱい運動



犬猫の飼い方マナー向上

ペットを飼う人、飼わない人双方が快適で安心して暮らすことができるよう、犬猫の迷惑防止対策やマナー向上などの啓発を行います。

また、災害時の混乱を避けるために、ペット同行避難に対する地域住民への理解や周知を図ります。

ペットの災害対策



目 標	現状値	目標値
「だれもが快適に生活できる環境が整っている」と思う区民の割合	51.0%	60%
ペットの飼い方マナー啓発活動の回数	7回	10回

関係機関の
取組み

北環境事業所

家庭からの資源・ごみの分別の推進。所定の排出場所まで持ち出すことが困難な方々を支援するため、ご自宅の玄関前に出されたごみや資源の収集を「なごやか収集」として実施

地域との連携

地域では、そこに暮らす皆さま自らの手で、地域の安心・安全・快適のために活動している組織・団体があります。北区役所は、こうした地域の組織・団体と連携・協力し、「笑顔が満開!のまち」の実現をめざしています。

区政協力委員・災害対策委員

市政や区政に関する情報を地域の皆さまにお伝えし、皆さまのご意見を市や区に届けるパイプ役として、市長から委嘱されています。また、成人式や敬老会、運動会などの地域行事、交通安全市民運動、青少年保護育成運動など、幅広く活動しています。さらに、災害対策委員を兼務し、万が一災害が起きた場合は地域の取りまとめ役となります。

民生委員・児童委員

地域の皆さまの相談に応じ、行政の専門機関に相談するなど、地域の社会福祉の増進を図ることを目的に厚生労働大臣から委嘱されています。高齢者の孤立防止や相談支援に力を入れています。また、児童委員を兼ねており、「赤ちゃん訪問事業」などを通して、子育て世帯の支援にも取り組んでいます。

保健環境委員

市長から委嘱され、地域の公衆衛生向上のため活動しています。保健センターの業務に協力するとともに、高齢化社会における介護予防・生活習慣病予防など、時代に即した活動に取り組んでいます。また、ごみ・資源の分別指導や環境保全活動など環境事業所の業務の支援も行い、活躍しています。

女性会

地域の女性たちによる自主的な組織です。登下校時の見守り、あいさつ活動など地域の課題について、それぞれの地域にあった活動をしています。

子ども会

遊びを中心とした異年齢の子ども同士の集団活動を通じて、子どもの自立性・創造性・協調性を養い、心身の健全な育成を目的に活動を行っています。

老人クラブ

地域の高齢者の方が生きがいと健康づくりを目的に、趣味の活動、発表会などを通して同じ地域に暮らす高齢者が互いに支えあい、社会貢献していけるように活動しています。

スポーツ推進委員

市長から委嘱され、学区での運動、スポーツ実技指導、各種スポーツ大会の企画運営など地域におけるスポーツの推進役として活動しています。

消防団

それぞれの学区を中心に火災などの災害時の活動、地域での各種訓練、防災知識の普及啓発など地域を災害から守るために活動しています。また、大学生消防団愛知学院大学分団も活躍しています。



親しまれ信頼される区役所づくり

昨今、社会状況の変化に対応し、地域の人々の安心で快適な暮らしを支える行政サービスを持続可能なものとして提供していくために、区役所は住民とともに地域の課題や、区の特性に応じたまちづくりに取り組む必要があります。そのために、区民にとって、より身近で信頼される区役所をめざし、3つの将来像に向けた取組みを区民の皆さまと協働してすすめていきます。

区民ニーズの把握・区政への反映

区民と顔の見える関係づくりをより推進し、区民の皆さまの意見を的確に把握、区政に反映することで、区民の皆さまの区政への参画や協働づくりをすすめます。

区民会議



区まちづくり基金



区にゆかりのある方や区民の想いがより区政へ反映できる仕組みづくりを推進します。

誰もが利用しやすい区役所づくり

区民の皆さまに身近な行政機関として親しまれ、信頼される区役所をめざします。

来庁者サービスの充実



出生お祝いカード



3S運動
「スマイル・スピーディ・セキュリティ」
を心がけた対応

多文化共生に向けて

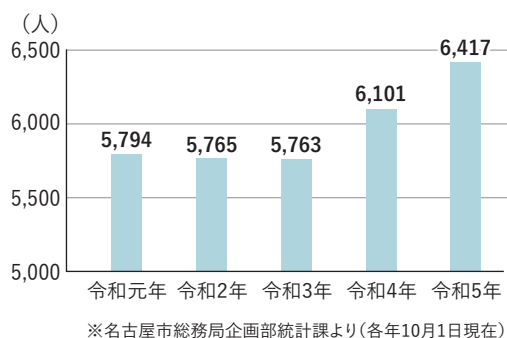
北区には、市内でも多くの外国人の方々が暮らしています。令和5年の北区の人口は約16万1千人で、外国人人口が約6,400人ですので、約4.0%の方が外国人です。

国籍も多様化しており、今後ますます外国人が増えていくことが予想されます。

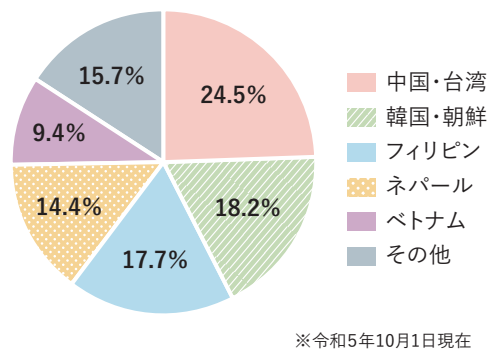
在留資格別に見てみると、永住者等（永住者、日本人配偶者、永住者配偶者、定住者）と特別永住者が外国人の60%強を占め、日常生活においては、会話に不自由している外国人は少ないかと予想されますが、それでも、日本語会話が不自由な方も一定数おり、地域住民との関係において何らかの支障を感じている方がいると考えられます。

北区民として暮らしている外国人の方々が、安心・安全に暮らしていけるよう、ニーズなどを把握しながら、多文化共生に向けて取り組んでまいります。

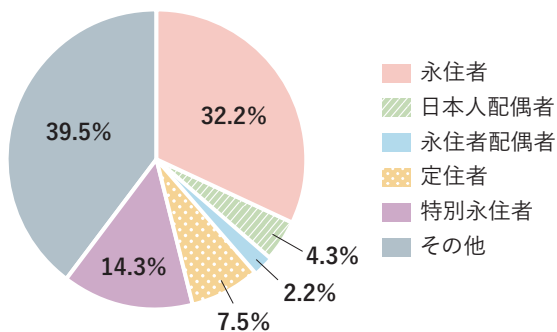
外国人の推移（北区）



外国人の国籍（北区）



外国人の在留資格（北区）



多文化共生に向けた取り組み

- 保険年金課の窓口でネパール語のフロアサービスを月曜日に配置
- 民生子ども課、保険年金課、保健予防課などで、多言語対応の自動翻訳機の活用
- 市民課の窓口にある受付番号発券機における多言語対応

受付番号発券機におけるネパール語の画面



包括連携協定

■ 愛知学院大学

まちづくり、防災、生涯学習、文化など幅広い分野において、相互に協力し、地域社会の発展に寄与することを目的に取り組んでいます。

■ UR都市再生機構

少子高齢化への対応や災害に強いまちづくりなど社会環境の変化に伴う多様化する地域課題に対応し、持続可能な地域社会づくりを目的に取り組んでいます。

■ 国立大学法人名古屋大学大学院情報学研究科と株式会社デンソー

ICTを活用したまちづくりなどの推進を目的に取り組んでいます。

令和6～令和10(2024～2028)年度

コスモスビジョン(北区将来ビジョン)

発行・編集

名古屋市北区役所区政部企画経理課

名古屋市北区清水四丁目17番1号

[電話] 052-917-6428・6429

[ファクシミリ] 052-914-5752

[ホームページ] <https://www.city.nagoya.jp/kita/>

発行年月 令和6年5月